

高橋あきひこ物語

未来
一緒に
世田谷を
創ろう！



そんな笑顔の絶えない
幸福な家庭の中で
高橋は少年時代を過ごす

建設会社を経営する父
優しい母、9歳年下の妹

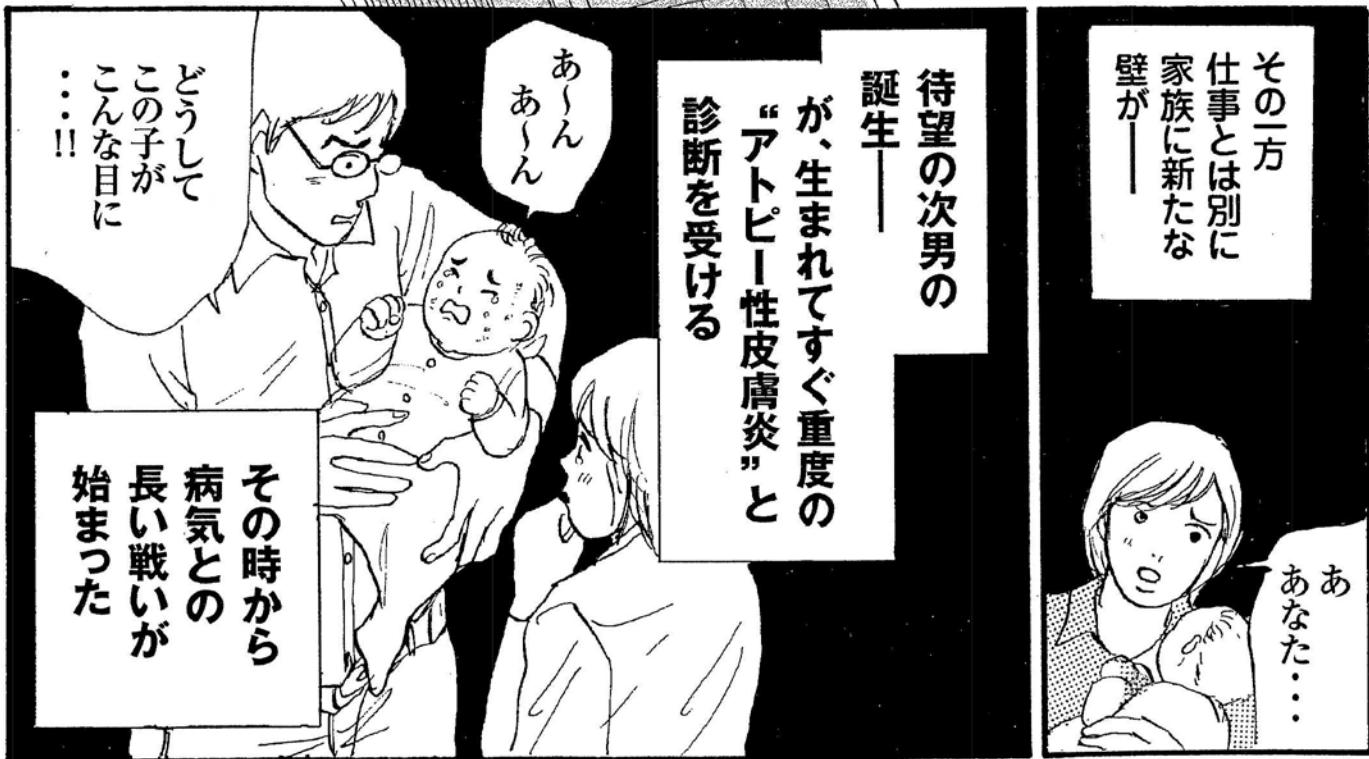


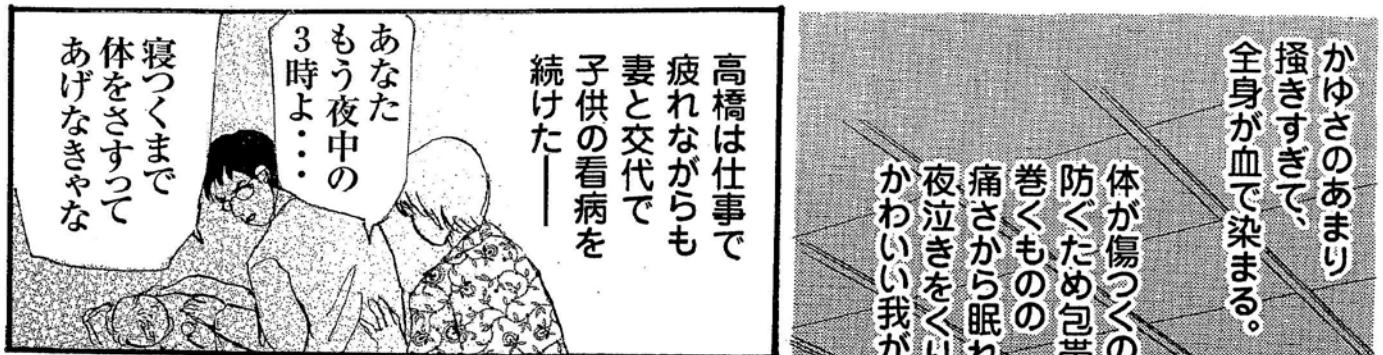
昭和36年4月
世田谷区下馬で
一人の元気な男の子が
誕生！

明るく元気な
あきひこ少年は
剣道・テニスと
日々、スポーツで
汗を流していた









しかし、また
新たな病気が
発覚!!

まわりの子供と
比べるとずいぶん
背が低くないか?

“成長ホルモン”
欠乏症”

ようやくアトピーが
落ち着いた矢先に
今度は成長ホルモン
製剤の投与が始まつた

そんな
“人の痛み”がわかる

高橋は
皆の期待を受け、
平成十五年に初当選
区議員高橋の
挑戦・躍進が始まった!



そして高橋が
最初に手がけたのは
…エピソード①

あんた
私が電車に
乗るとき、どんなに
大変かしててるかい？

当時、車イスの
婦人が住む
桜上水の駅は
エレベーターも
エスカレーターも
無かった

毎回四人の駅員に
車イスごと持ち上
げられて長い階段を
上って下って：
振り落とされそうで
そりゃあいつも
大変なんだよ

でもね、
鉄道会社の
計画があるし
金もかかる
つけらんない

高橋は早速
議会で提案
しかし、反応は…

のうり

不便な思いをしている
住民の身になつて
ください！
ぜひ！早急に
バリアフリー化を！

エレベーター

やつおばあちゃん
やりましたよ！

ありがたいね、

な体年い
るがつか
んじんなど
よく

設平桜上水駅は
二十年に

ねばりの高橋
その後、ようやく
駅舎改修が実施
高齢者や子供のバギーも
安全な環境が実現された

ねばりの高橋

エピソード②

日本は地震国
……いつまた大きな
地震がくるか
わからない

今年で
阪神淡路大震災
から十年を
迎えました

心配だな

阪神淡路

よし！大切な
子供たちが通う
学校の耐震強度を
調べよう！

学校は区民の
避難所にもなる
大事な場所だ！



こんなに
きケンだった
のか：

校庭に
マンホールトイも
作りました！

こまかいで

公明党
調査チーム
調査結果
区内九十五校
全小中学校のうち
五十五校が
耐震に問題が
あると判明

実施！
耐震化
100%
平成二十三年
区内全小中学校
結果

平成十七年
耐震改修を
追及！

区民の命を守る
責任ある行動を
お願いします！

小・中学校の
一刻も早い
耐震対策を！

知らなかた
ほり
55校も？

議会



「発想力」「行動力」 「実現力」No. 10

